

○ 今月のみことば

T. A

『あなた方に平和があるよう、弟子たちは主を見て喜んだ。』

(ヨハネ20.19～20)

4月1日教会ではイースターを祝いました、みなさまに復活なされたイエスさまの平和と喜びがありますようにと心から願います。

学校が始まったばかりで希望一杯な反面不安な気持ちもあるかも知れません。復活なされたイエスさまが一人一人に「あなたに平和があるように、私はあなたと共にいます」と、言ってくださっていると思います。

ある小さな物語をみんなに分ち合いたいと思います。

パリでのある教会の前で物乞いをしていたポールと言うホームレスのことです。この方は、毎朝教会の中に入って、一番前のベンチに少しの間、静かに座っていました。それを見て一人の婦人は彼に尋ねました「ポール、どんな祈りをしていますか」。その質問に対して彼は答えました。「祈り?」「私は祈りを何にも覚えていないので、とても簡単です」私は聖堂の一番前に行ってイエスに言います「イエス、ポールです。あなたに会いに来ましたよ」って、そして、私はいるということを示すためにしばらくそこに座っています。その婦人は驚いて、自分もポールにならって、同じような祈りをするようになりました。

ある日、ポールが教会に来なくなったので、その婦人はポールを探して、やっと見つけたら、彼はある病院に入院していました。お見舞いに行くと、もうポールは長くないと感じたので、翌日も病院を訪れました。医者からポールはもうだめだと聞かされると思っていたのですが正反対でした。ポールはきれいにひげをそり、生き生きとした様子でベッドに座っていました。計り知れない喜びが彼の顔からあふれ、輝いていました。婦人は彼に言いました「ポール、信じられない、復活したの?、何がおこったの?」。

「そうだね。今朝、私は気分が全くすぐれなかった。すると、突然、だれかが入ってきて、ベッドの足元に立ちました」。その方は、私に微笑み、そして言いました「ポール私だ、イエスだ、君に会いに来たよ。」と。

いかがでしょうか。ポールは、病気でイエス様に会いに行けなかったのですが、イエス様ご自身が会いに来てくださいました。そして喜びと平和を一杯そそいでくださったのでした。みなさま、これからポールのように、イエス様に祈ってみませんか。必ず、イエス様が力と喜びをくださると私は確信しています。 「メジュゴリの証言者」より

生徒の心に語り掛けたいこと

理科 J. N

私の机には、1枚の絵と1枚の写真が置いてあります。絵はルオーという画家が描いた『郊外のイエス』で、月明かりの下、街外れを歩く二人連れのうしろにキリストが寄り添っているというものです。心細い気持ちの時でさえも、キリストは私たちとともにいて下さる。「恐れることはない、わたしがいつもともにいる」という聖書の言葉が思い出されます。みなさんも、安心して今日という日々を送りましょう。写真は、『宇宙からみた地球』です。

宇宙飛行士は、「何がしたいか」という問いかけに、そのほとんどが「地球が見たい」と答えるそうです。

私は、これを見ると、地球は、「水の星」、「大気の星」、「緑の星」そして「生命の星」であることを実感します。宇宙飛行士の毛利衛さんは、こんなことを言っています。「月は太陽に照らされて光る（写真では地球が太陽に照らされて光っています）。他者があって自分があるという。ひとつにつながってこそ自分がある。」と。

つながりって大切ですね。そういえば、お聖堂横の掲示板で素敵な言葉を見つけました。

「あなたのほうから『ほほえみ』かけましょう。」

ほほえみはつながりの第一歩。皆さんも、ぜひ実践しましょう。

